様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

福岡都心部地区

平成２５年３月

福岡県福岡市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	福岡都心部地区		面積	909 ha
交付期間	平成20年度～24年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	13,389.7百万円	国費率	0.401	

			事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業		○街路（桜坂桧原線外1線、長浜臨港線、博多箱崎線外1線、博多駅六本松線） ○道路（山王公園線、博多姪浜線、天神27号線、天神41号線、渡辺通156号線、薬院642号線、警固689号線、大名763号線、市道塩原3705号線、横断歩道橋） ○河川（薬院新川） ○地域生活基盤施設（自転車駐車場整備、美野島ｱﾝﾀﾞｰﾊﾟｽﾎﾟﾝﾌﾟ場改良、観光案内板、老人いこいの家整備） ○高質空間形成施設（歩道照明灯、博多川） ○高次都市施設（公民館） ○土地区画整理事業（渡辺通駅北地区）
	提案事業		○地域創造支援事業（自転車対策事業、都心拠点まちづくりの推進（天神、博多駅）、都市景観維持事業、ストリートパフォーマンス、まちめぐりナビゲーション、地図案内サイン、博多の水辺空間魅力創出事業、貼り紙防止事業、下水道整備事業、地下埋設物等設置事業、ヒートアイランド対策実証実験、壁面緑化の実施、環境保全活動支援事業、福岡演劇活動支援事業、都心公園の課題解決検討、吸い殻散乱削減対策事業、都心部景観形成事業、博多ライトアップウォーク、渡辺通北交差点改良、観光マネジメント施策の推進、観光バス乗降・待機場等整備） ○事業活用調査（事業効果把握調査） ○まちづくり活動推進事業（都心まちづくり支援制度検討）

			事業名	削除/追加の理由	関連する指標
当初計画から削除した事業	基幹事業		○公園（明治公園）	地下鉄延伸工事との調整により、交付期間内の事業実施ができないため削除	指標1～3に関係するが目標値は据え置く
	提案事業		○公民館の自動ドア設置	計画の見直しにより交付対象期間内に事業を実施しないため削除	指標6に関係するが目標値は据え置く
新たに追加した事業	基幹事業		○街路（博多駅六本松線（地下車路等））	JR博多駅へのアクセス性向上のため追加	指標2の改善に貢献する事業として追加
			○道路（天神28号線、天神29号線、天神30号線、天神31号線、舞鶴薬院線（天神3）、東光寺竹下春吉線（西中洲）、赤坂828号線、市道桜坂1631号線）	歩道の確保や段差解消等歩行空間の安全性・快適性の向上の取組みの充実を図るため追加	指標1及び5の改善に貢献する事業として追加
			○公園（警固公園、薬院北公園））	都心部の都市空間の魅力や回遊性の向上の取組みの充実を図るため追加	指標1～3の改善に貢献する事業として追加
			○地域生活基盤施設（福岡市民体育館バリアフリー化事業、河川水位監視・観測システム整備事業）	歩行者空間ネットワークの充実や都市景観の向上の取組みの充実を図るため追加	指標1及び2の改善に貢献する事業として追加
			○高質空間形成施設（歩行者空間等高質化事業、辻堂口門建設事業）	舗装や照明灯歩行者空間の高質化による歩行空間の快適性や都市景観の向上の取組みの充実を図るため追加	指標1及び3の改善に貢献する事業として追加
			○高次都市施設（博多口交差点地下通路、博多駅ペデストリアンデッキ整備、博多駅前広場地下鉄出入口改良、博多駅前広場地下施設出入口改良）	市の中核的施設の利便性向上や都心部の災害に対する安全性向上により、魅力向上の取組みの充実を図るため追加	指標1～3の改善に貢献する事業として追加
			○既存建造物活用事業（伝統工芸展示・交流館）	都心部への集客や賑わい創出の取組みの充実を図るため追加	指標1～3の改善に貢献する事業として追加
	提案事業		○地域創造支援事業（※主要な事業内容で分類）		
			＜イベント等＞（地域密着型集客・まちづくり事業（博多部）、九州新幹線全線開通イベント（福岡）実施事業、まちなかアートギャラリー、福博花しるべ事業、賑わい創出施設・情報発信スペース設置事業）	都心部への集客や賑わい創出の取組みの充実を図るため追加	指標1及び2の改善に貢献する事業として追加
			＜施設等の改良＞（博多町家ふるさと館魅力アップ事業、福岡市民会館にぎわい増進事業、博多座にぎわい増進事業）	施設の魅力向上による都心部への集客や賑わい創出の取組みの充実を図るため追加	指標1及び2の改善に貢献する事業として追加
			＜地下鉄の利便性向上＞（地下鉄博多駅コンコース改良、地下鉄駅ナンバリング事業、地下鉄駅券売機4カ国語化事業）	都心部へのアクセス性向上の取組みの充実を図るため追加	指標2の改善に貢献する事業として追加
			＜回遊環境の向上＞（通り名板設置事業、バリアフリー対策事業）	通り名の案内サイン等により徒歩での回遊性向上の取組みの充実を図るため追加	指標1及び3の改善に貢献する事業として追加
			＜集客・安全安心なまちづくり＞（博多駅前安全安心センター設置事業、天神観光案内所改良事業、公衆無線LAN環境整備事業）	地域との共働のまちづくりの充実を図るため追加	指標1～3の改善に貢献する事業として追加
			＜地球温暖化対策＞（地域との共働による温暖化対策、駅照明設備等の省エネルギー化事業）	地球温暖化に対する取組みの充実を図るため追加	指標7の改善に貢献する事業として追加

交付期間の変更	当　初	平成20年度～24年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	
	変　更	なし		

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	主要地点の歩行者数	千人/日	152	H19	168	H24	—	190	○	あり なし	— —	安全・快適な歩行空間の確保、魅力ある施設や空間の整備、サインの充実等により、歩いて楽しめるまちづくりが進んだ。	
	指標2	都心部主要駅乗降客数	万人/年	25,393	H18	27,000	H24	—	26,918	△	あり なし	●	目標値にはわずかに及ばなかったが、駅施設の利便性向上、道路整備等による駅へのアクセス性の向上、多様なイベントの開催等が総合的に効果を発揮し乗降客数は増加した。	H25年8月頃
	指標3	都心部の美しさ評価	%	62.6	H19	68.0	H24	—	85.1	○	あり なし	— —	道路空間の高質化やデザインに配慮した施設整備、放置看板やごみ等の景観阻害要因排除による景観向上が評価された。	
	指標4	自転車放置率	%	33.0	H19	28.0	H24	—	18.7	○	あり なし	— —	自転車駐車場の新設・機能強化、モラルマナーの啓発や放置自転車対策のハード・ソフト両面の取組みが効果を発揮した。	H25年10月頃
	指標5	交通事故発生件数	件/年	5,482	H19	5,200	H24	—	5,015	○	あり なし	— —	歩道の新設・拡幅等を中心とした歩行者の安全確保に向けた道路整備が交通事故減少に貢献した。	H25年7月頃
	指標6	公民館利用者数	千人/年	342	H18	360	H24	—	396	○	あり なし	— —	公民館や老人いこいの家の改築により、利便性が向上し利用者数が増加した。	H25年7月頃
	指標7	朝顔カーテン実施団体数	団体/年	6	H19	12	H24	—	15	○	あり なし	— —	朝顔カーテンの実施と広報、温暖化に対する啓発イベント等が効果を発揮した。	

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	なし											

4）実施過程の評価		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	住民参加プロセス	①「WeLove天神協議会」によるワークショップ、市民フォーラム、委員会等の開催【都心拠点まちづくりの推進（天神）】 ・まちめぐりナビ、サザン通り活性化、警固公園のあり方等 ②「博多まちづくり推進協議会」によるワークショップ、検討会、部会会議等の開催【都心拠点まちづくりの推進（博多駅）】 ・明治公園再整備、はかた駅前通り景観形成プラン、通り名、ガイドライン策定等 ③「博多の魅力発信会議」による活動【地域密着型集客・まちづくり事業（博多部）】 ・観光キャンペーン、ホームページリニューアル、博多を紹介する「博多本」の制作等	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	①今後も天神地区において、「まちづくりガイドライン」に基づく計画実現に向けたまちづくりの取り組みを継続して行っていく。 ②今後も博多駅地区において、「まちづくりガイドライン」に基づく計画実現に向けたまちづくりの取り組みを継続して行っていく。 ③今後も博多部において、地域、企業、行政が連携した地域密着型の集客・まちづくりへの取り組みを継続して行っていく。
	持続的なまちづくり体制の構築	①「WeLove天神協議会」（天神地区を中心とした企業・住民等が参画）の活動の継続【都心拠点まちづくりの推進（天神）】 ・天神地区のエリアマネジメントにかかる企画・提案・実施 ②「博多まちづくり推進協議会」（博多駅地区を中心とした企業・住民等が参画）の設立（平成20年4月）【都心拠点まちづくりの推進（博多駅）】 ・地域課題の解決に向けた様々なまちづくりの取組みを実施 ③「博多の魅力発信会議」（地域・企業・行政で構成）の設立（平成23年度）【地域密着型集客・まちづくり事業（博多部）】 ・博多部の更なる魅力の創出と、魅力の発信を行うことにより、集客力・回遊性の向上とまちの活性化を図る	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	①今後も同協議会の運営に、行政はオブザーバーとして参加し、連携・支援していく。 ②今後も同協議会の運営に、行政はオブザーバーとして参加し、連携・支援していく。 ③今後も地域、企業、行政が連携した地域密着型の集客・まちづくりへの取り組みを継続して行っていく。

様式２－２　地区の概要 ①

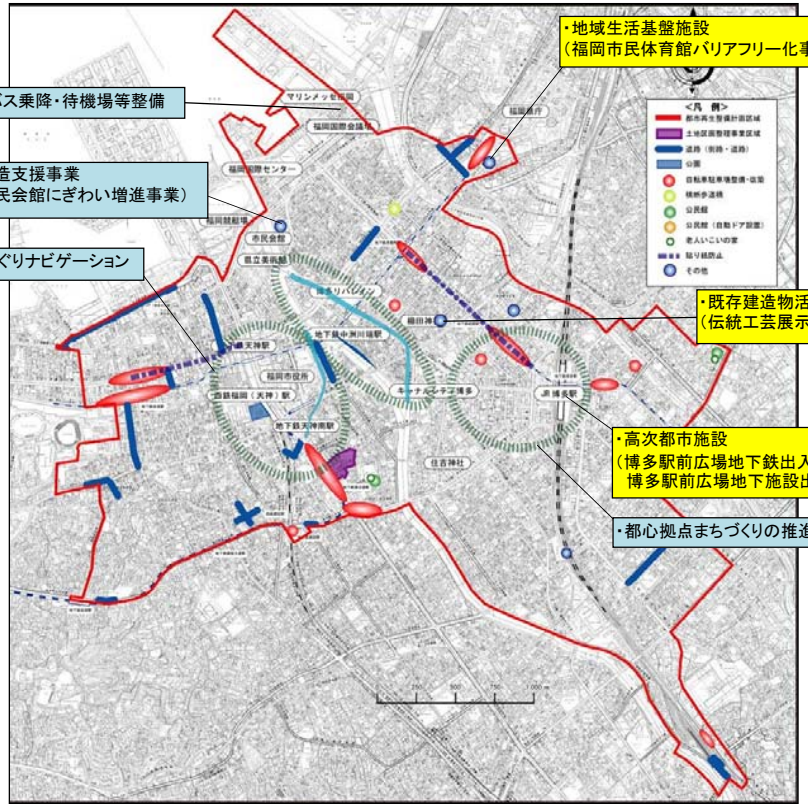
福岡都心部地区（福岡県福岡市）　都市再生整備計画事業の成果概要

大目標：「おもてなしの都市・福岡」にふさわしい快適で魅力あふれる都心づくり
■目標１：九州・アジア新時代にふさわしい 魅力あふれるにぎわい交流拠点の実現

■玄関口にふさわしい博多駅周辺の実現

博多駅前広場地下施設出入口

博多駅前広場地下鉄出入口



【地図に表示していない事業】

・地域生活基盤施設（観光案内板）
・ストリートパフォーマンス
・地図案内サイン
・福岡演劇活動支援事業
・都心部景観形成事業
・博多ライトアップウォーク
・地域密着型集客・まちづくり事業（博多部）
・観光マネジメント施策の推進
・博多町家ふるさと館魅力アップ事業
・博多座にぎわい増進事業
・天神観光案内所改良事業
・通り名板設置事業
・地下鉄駅券売機4カ国語化事業
・賑わい創出施設・情報発信スペース設置事業
・まちなかアートギャラリー
・福博花しるべ事業
・公衆無線LAN環境整備事業
・都心まちづくり支援制度検討

凡　例
基幹事業
提案事業

■施設整備やイベント等による集客・にぎわいの実現

伝統工芸展示・交流館

博多町家ふるさと館

ストリートパフォーマンス

まちなかアートギャラリー

■都市サイン整備等による都市景観の向上

通り名板設置

地図案内サイン

■魅力ある都市景観の創出

福博花しるべ事業（博多駅～天神をチューリップで結ぶ）

様式２－２　地区の概要 ②

福岡都心部地区（福岡県福岡市）　都市再生整備計画事業の成果概要

大目標：「おもてなしの都市・福岡」にふさわしい快適で魅力あふれる都心づくり

■目標2：安全・快適に移動できる都心部の実現

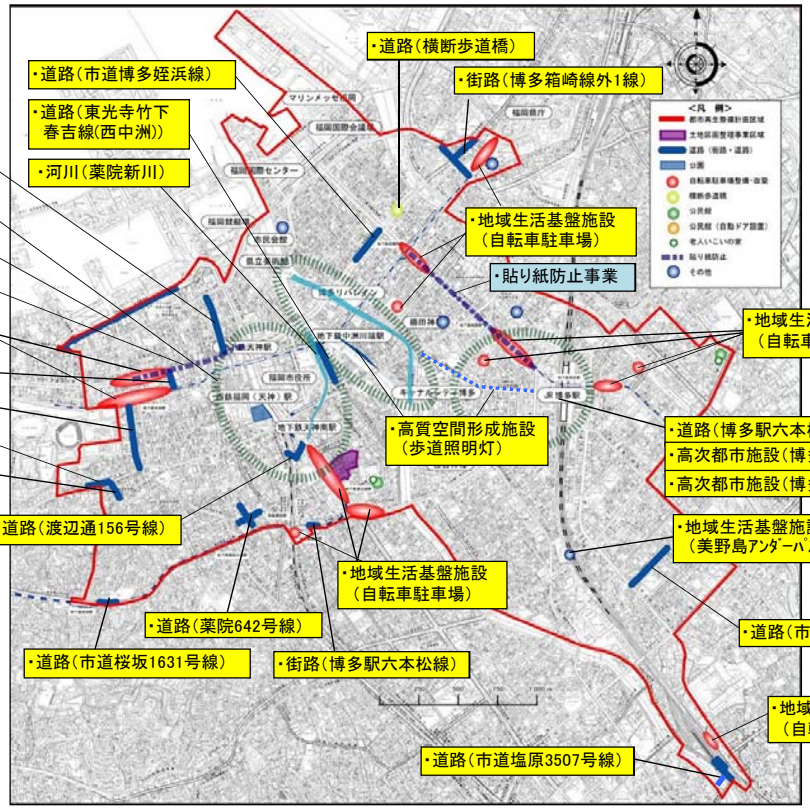
■鉄道駅へのアクセス性の向上

道路（博多駅六本松線/地下車路）

■魅力ある道路空間の形成

高質空間形成施設（歩道照明灯）

都心拠点まちづくりの推進（天神）



- ・地域生活基盤施設（河川水位監視・観測システム整備事業）
- ・高質空間形成施設（歩行者空間等高質化事業）
- ・自転車対策事業
- ・都市景観維持事業
- ・下水道整備事業
- ・地下埋設物等設置事業
- ・吸い殻散乱削減対策事業
- ・渡辺通駅北交差点改良
- ・地下鉄博多駅コンコース改良
- ・博多駅前安全安心センター設置事業
- ・地下鉄駅ナンバリング事業
- ・バリアフリー対策事業

■放置自転車対策による安全・快適な歩行空間や景観の形成

自転車駐車場整備（博多駅周辺）

自転車対策（街頭指導員）

■安全・快適な歩行空間の確保

道路（歩行空間の整備、天神29号線）

博多駅ペデストリアンデッキ

博多口交差点地下通路

■都心部へのアクセス性の向上

街路（長浜臨港線）

様式２－２　地区の概要 ③

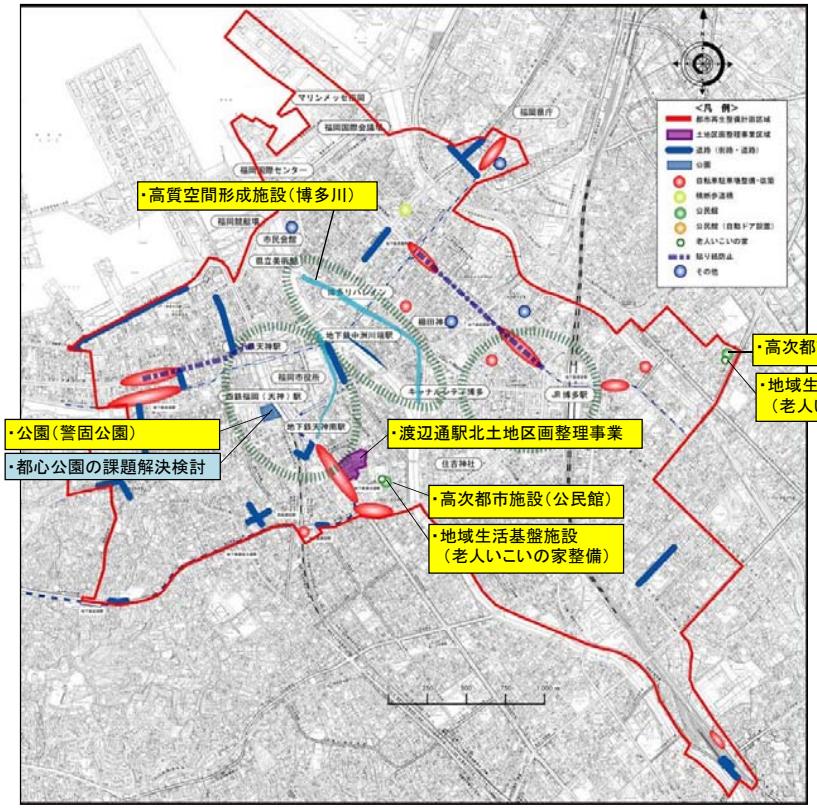
福岡都心部地区（福岡県福岡市）　都市再生整備計画事業の成果概要

大目標：「おもてなしの都市・福岡」にふさわしい快適で魅力あふれる都心づくり
■目標３：都心部居住における地域コミュニティの形成
■目標４：環境と共生する都市の実現

■コミュニティ活動の場の整備

公民館・老人いこいの家（東光）

公民館・老人いこいの家（春吉）



■自然と共生できるいこいの空間の創出

博多川（河川沿いの憩いの空間）

警固公園（平面図）

■地球温暖化対策の実施や啓発イベントの実施

壁面緑化（朝顔カーテン）

- ・博多の水辺空間魅力創出事業
- ・ﾋｰﾄｱｲﾗﾝﾄﾞ対策検証実験
- ・壁面緑化の実施
- ・地域との共働による温暖化対策
- ・環境保全活動支援事業
- ・駅照明設備等の省エネルギー化事業（赤坂・中洲川端・博多・天神）

凡　例
基幹事業
提案事業

様式２－２　地区の概要 ④

福岡都心部地区（福岡県福岡市）　都市再生整備計画事業の成果概要

福岡都心部地区 第2期整備計画（H20～H24）

◇大目標：「おもてなしの都市・福岡」に ふさわしい快適で魅力あふれる都心づくり

■目標１：九州・アジア新時代にふさわしい 魅力あふれるにぎわい交流拠点の実現

【事業の概要】
○玄関口にふさわしい博多駅周辺の実現
○施設整備やイベント等による集客・賑わいの実現
○都市サイン整備等による都市景観の向上
○魅力ある都市景観の創出
○憩いや交流の場となる魅力ある都市空間の形成
○高次な都市活動の場となる施設の機能強化と利便性向上

■目標２：安全・快適に移動できる都心部の 実現

【事業の概要】
○鉄道駅へのアクセス性の向上
○魅力ある道路空間の形成
○放置自転車対策による安全・快適な歩行空間や景観の形成
○安全・快適な歩行空間の確保
○都心部へのアクセス性の向上
○河川改修等による水害対策など

■目標３：都心部居住における地域ｺﾐｭﾆﾃｨの形成

【事業の概要】
○公民館や老人いこいの家の改築などによる地域コミュニティ活動の場の整備

■目標４：環境と共生する都市の実現

【事業の概要】
○公園の整備や河川沿いの憩いの空間整備など自然と共生できるいこいの空間の創出
○地球温暖化に対する先導的取組みや啓発イベントの実施

今後のまちづくりの方策

成果（○）と課題（▼）

○ インフラ整備やソフト事業により、福岡都心部の歩行者数や主要駅乗降客数が増加するとともに、数年前と比べた都心部の美しさについても、市民から非常に高い評価を得るなど、**都市機能の強化と魅力づくりが進められてきた**。
▼ 一方で、**機能強化が必要な高次都市施設はなお残されている**。また、地下鉄博多駅の機能や利便性は向上し乗降客数も増加しているが、**他の旅客施設においても機能強化**

○ 道路空間の魅力向上など、**歩行者が安心・快適にまちを歩くことができる環境づくりが進むとともに、都心部へのアクセス性も向上し、歩行者数も大きく増加**した。
▼ 一方で、**安全・快適な歩行空間の確保や道路整備などが必要な箇所はなお多く残されている**。
また、自転車駐車場の整備や機能更新、自転車利用のモラルマナーの啓発や放置自転車の撤去により、自転車放置率は大きく改善したものの、なお十分ではないことと、都市景観等の観点から駐輪スポットへの駐輪から自転車駐車場へと転換を図り、**取組みを継続実施することが必要**である。
同様に、河川改修等により、水害に対する都心部の安全性は向上したが、なお十分では

○地域コミュニティ活動の場の充実が図られ**公民館利用者数も増加**した。
▼一方で、**整備を必要とする施設・箇所はなお残されている**。

○公園の整備や河川沿いの憩いの空間整備により**自然と共生できる空間が創出**された。
▼一方で、**整備が求められる箇所はなお**

近年の都心部をとりまく状況

◎飛躍的な成長を遂げるアジア

◎九州新幹線でつながる九州

◎急増・大型化するｸﾙｰｽﾞ船の寄港

◎好調を続ける国際ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ（全国2位）

◎官民施設の更新期が集中到来

◎国際競争力の強化に向けた、国による「特定都市再生緊急整備地域」の指定

福岡都心部地区 第3期整備計画（予定）（H25～H29）

◇大目標：「国際競争力の強化に向けた 都心部の機能強化と魅力づくり」

■目標①：核や拠点の機能強化や界隈性の創出

○ 第2期整備計画に位置付けられたインフラ整備やソフト事業により、都市機能の強化や魅力づくりが進められてきた。
○ 更には、福岡都心部は、陸・海・空の広域交通拠点が近接し、約36万人の方の働く場となっており、都市圏全体に占める従業員や小売額の割合が約3割、コンベンションの開催件数は東京に次いで全国第2位となるなど、住む人、働く人、訪れる人にとって重要な地区であり、第3次産業が9割を占める本市では、**多くの人が集い・賑わうことが、活力・創造の源**であるため、福岡都心部においては、**更なる機能強化と魅力づくりが必要**である。
○ また、**福岡都心部の核となる天神地区・博多駅地区・ウォーターフロント地区**については、H24年1月、**国際競争力の強化**に向けて、国の成長戦略に基づく**「特定都市再生緊急整備地域」の指定**を受けており、その他の拠点や界隈も含め、各地域の特性に磨きをかけ、商業・業務・交通・観光・歴史・文化・環境・コミュニティ・居住等の多様な視点による**機能強化や魅力づくり**を推進する。

■目標２：回遊性の強化

○ 第2期整備計画に位置付けられたインフラ整備やソフト事業により、道路空間の魅力向上など、歩行者が安心・快適にまちを歩くことができる環境づくりが進むとともに、都心部へのアクセス性も向上した。
○ 一方で、福岡都心部の核となる天神地区、博多駅地区、ウォーターフロント地区では、建物更新期を契機に、機能更新に向けた取り組みが加速している。特に、九州新幹線全線開通のインパクトは大きく、博多駅は、JR博多シティの開業や、駅前広場（博多口）の再整備など、交通結節点としての機能強化を図るだけでなく、商業機能の集積など、九州の玄関口に相応しい、魅力溢れるまちへと生まれ変わった。
○ **都心部全体の活力向上**には、このような**核となる地域の魅力や賑わいを都心全体に波及**させる必要があり、**都心核を結ぶ回遊主軸の形成を図る**とともに、バナーや花・緑、水辺、歴史・景観等を活かした魅力ある歩行者空間の実現や賑わいの創出による、**核や拠点、界隈を結ぶ回遊性の強化**を推進する。

■目標３：官民連携のまちづくり推進

○ **官民ともに建物の更新期を迎える**都心部においては、**官民が共働**しながら、計画的な機能更新を促進し、公共空間や賑わいの創出等を図っていくことが重要である。
エリアマネジメント団体などの民間主体のまちづくり活動を支援しながら、**住民・企業・地域団体等の活力を活かしたまちづくり**を推進する。